

柏ビレジ自治会便り

2019/3月号



# 柏ビレジ・ニュース

2019年3月23日  
 柏ビレジ自治会発行  
 自治会事務局（自治会館）  
 TEL 04-7132-1925  
 FAX 04-7132-1965

柏ビレジ自治会ホームページ <https://kashiwa-village.com/>



## 平成30年度を振り返って 自治会会長 竹田 徹

本年度も、皆様のご支援・ご協力を得て、自治会長の職務を全う出来たことを有り難く思っています。「若い世代も含め誰もが住んでみたいと思ひ、住んでいる人達が住み続けたいと思う街づくり」をスローガンに、はや4年間が経過しましたが、至らぬところが多々あり住民の皆様には大変申し訳なく思っています。この場を借りてお詫び申し上げます。

続きまして、本年度の活動を報告いたします。

本年度「住まいのまちなみコンクール」に国土交通大臣賞を受賞したことが柏ビレジにおいて最大の喜びだと思っています。一昨年は土地の価格の下落率が全国一位という不名誉を受けましたが、この受賞を機に明るい方向に向かってくれればと願っています。

昨年3月に筑波大学藤井研究室のご支援を受けて発足した「未来まちづくり協議会」が皆様のアンケートを受けて「空き家と施設減少の対策」「交通・移動手段」「まちなみと協定見直し」の3点に絞って柏ビレジの課題を決定し、その議論を全住民に呼び掛け具体化するに至ったことも大きな成果と言えるのではないのでしょうか。

その他の活動についてご報告いたします。

5月のクリーンデーごみゼロ運動・11月の防災初期消火訓練・田中地区環境美化運動[グリーン作戦]については恙無く行われたという感想でございます。しかしながら、3つの行事とも参加者が少ないというのが正直なところで御座います。来年度は一人でも多くの方々の参加を望みます。

夏季・冬季の防犯パトロールについては、支部長・班長さんたちのご協力により無事実施することが出来ました。特に門灯の不点灯については防災部の工夫も有り減少したことに嬉しく思います。来年度も多くの方々の参加と門灯不点灯の減少に期待しております。自分たちの街は自分たちで守ることが大事ではないでしょうか。

8月の夏祭り、今年に入り餅つき大会が1月に開催されました。2つの行事共に天候にも恵まれ、大勢の皆様のご参加により成功裡に終了しました。多くのボランティア団体の皆様・個人の皆様、ご協力有難う御座いました。

活性化問題・環境問題などについても積極的に取り組みました。交通問題・児童や若い世代向け施策などの活性化対策、冠水・湧水・歩道の補修・樹木の繁茂・空き家問題・水辺の公園の水質問題などの環境対策について地道な活動を続けております。特に長年柏市と協議を重ねてきた水辺の公園の水質問題については、第1調整池の余水吐きと第3調整池の浚渫の実施に至りその効果が期待されるところであります。

来年度以降も引き続き住みよいまちを目指して努力していきたいと存じますので、温かく見守っていただければ幸いに存じます。皆様のご協力なくして自治会は存在しませんので何卒宜しくお願いいたします。

## 第38回 柏ビレジ自治会 定時総会のご案内

第38回柏ビレジ定時総会を以下の日程で開催いたします。

事業報告・方針の説明・新役員を選出、柏ビレジ住民の皆様のご質問の場となりますので是非ご参加ください。ご欠席の場合は、必ず委任状を班長にお届けください。

- 日時:平成31年 4月14日(日) 午後1時～午後4時
- 場所:花野井小学校体育館

※上履きが必要ですのでスリッパなど各自ご持参ください。

## 柏ビレジ餅つき大会



心配された降雪予報が一転して会場設営が終る頃には風も収まり、ぽかぽかの天気となりました。この頃には餅や豚汁のテントの前には行列が出来上がり、自治会長他による樽酒の鏡開きが行われて、新春らしい雰囲気の中に餅つき大会がスタートしました。

配布を開始して30分が経つ頃、「疾風太鼓」に依る和太鼓の演奏が行われ、その後、「花野井剣友会」の小学生20名程が、指導者の型の説明に従って剣道の演武を元気に行いました。また、子供餅搗き体験も行われ、物珍しさもあつてか、かなりの数のお子さんが重い杵を持ち上げて木の臼で餅をつきました。その隣のテントでは、お子さんが「新春風あげ大会」用の風絵を描きました。尚、「図書ボランティア」に依る古本市も催されました。

実行委員やアイビーサロン、新樹会、子ども会、ビレジサポート等の140名程の協力を得て、餅つき大会を成功裡に開催出来ましたことを感謝いたします。(事業部 小川)

## 田中地区新春風あげ大会



利根運河堤防の中段にふるさと協議会を始めとする各町会のテントが立ち並びました。少し強めの風がある良い天気にも恵まれ、風揚げに興じる子供たちの元気な声が冬枯れの田圃に満ちて、古の『子供は風の子』を思い起こす、楽しい1日となりました。

(事業部 小川)

## 平成30年度 第14回 住まいのまちなみコンクール 「国土交通大臣賞」を受賞!



1月10日(木)午前10時頃、外出中に、当方のスマートフォンに不明着電があり、03局ですので、電話をとると、コンクール事務局でした。「宮崎さん、コンクール受賞おめでとうございます」との声があり、当方から慌てて「有難うございます。光栄です。」と回答すると、事務局から続けて「柏ビレジの受賞は国土交通大臣賞です。受賞のトップです」と言われ、びっくりし「過分な受賞です。……」と答えたのを、昨日のごとく覚えています。

一昨年の全国住宅地の下落率第一位などの暗いニュース・記事が出る中、「住まいのまちなみコンクール国土交通大臣賞」受賞は、柏ビレジにとって良いニュースであり、柏ビレジの再評価に繋がればと期待しています。

今回の受賞理由は、「開発者が計画した美しいまちなみを住民が育むとともに、年月を経たニュータウンの様々な課題に前向きに取り組んでいる。」とありますように、柏ビレジの多くの団体や住民の今までの活動に与えられたものです。すなわち、「柏ビレジ住民力」に対するものではないかと考えています。

特に、今回の応募書類の作成には、2018年5月上旬のコンクール案内チラシの受領から応募期限である同年8月末までという短期間であったため、活性化委員会のメンバーとともに多くの作業を行うことになりました。また、同時に、柏ビレジの多くの団体の多大なご協力をはじめ、柏市や筑波大学藤井准教授のアドバイスをもいただき受賞することができました。ありがとうございました。

書類審査がパスした後は、最終審査の柏ビレジ現地調査が11月25日に行われ、審査委員の4人の先生が、柏ビレジの住宅街、緑道、運動場、水辺の公園などを1時間ほど見て回りました。その後、「はなみずき」にて、柏ビレジの各団体代表者へのヒアリングが行われましたが、女性の参加者が多かったことや、日頃の活発な活動内容の説明に対して、審査委員からも好印象を持っていただきました。

受賞式は、今年の7月になりますが、受賞を機に、本コンクールの受賞団体が構成される「すまいのまちなみネットワーク」に参加し、他の団体との情報交換や、今後3年間の活動報告が求められます。なお、今後3年間で計150万円支援される受賞賞金は、柏ビレジの価値向上につながる活動に使っていきたく思います。

(未来まちづくり協議会 宮崎)